

# VOL 47 三月号

こんにちは。立春もおりもうすぐ3月に突入しますよ～。3月ともなれば“少しは寒けも和らぎ”、気軽に公園やテーマパークにも足が“自然”と出やすくなりますよね～(\*^。^\*)日本列島で桜が開花するのも早い地域（東京や福岡）において今年の2018年は3月21日と予想出ています。私は毎年、桜が咲き始めるといつも・・・もう一年が経ったのか～と実感します。日本社会（学校年度）では桜が咲く頃の4月頃が“年度の切替わり”で人生を歩んできているためなのか、節目だと特に感じさせられます。プラスアルファ私の場合は花粉症という辛い日々をやってきます。毎年この時期になると鼻が“ムズムズ”して、くしゃみが止まりません。花粉症は現代国民病と言われています。昔の人は花粉症にかからなかつたのかと疑問ですぬ♪そこで“今回は花粉症についてお話しをさせていただきたいと思います。

## 【花粉症のメカニズム】

花粉症はスギやヒノキなどの花粉が原因となるアレルギー性の病気です。

それでは、私たちの体の中でなにが起こっているのでしょうか。



体は花粉という「異物（アレルゲン）」が侵入するとまず、それを受け入れるかどうかを考えます。



排除すると判断した場合、体はこれと反応する物質をつくる仕組みをもつていてこの物質を『IgE抗体』と呼びます



抗体が出来た後、再び花粉が体内に入ると鼻や目の粘膜にある肥溝細胞の表面にある抗体と結合をします



その結果、肥溝細胞から化学物質（ヒスタミンなど）が分泌され、花粉をできる限り体外に放り出すのです



そのため、くしゃみで吹き飛ばす、鼻水や涙で洗い流す、鼻づまりで中に入れないように防御するなどの症状が出てくるのです。これが花粉症の症状ということなのです。